

# 環境経営活動レポート



本社工場



TOTAL METAL WORK YAMASHITA  
since 1960

先進技術と熟練の職人が受け継いできた確かな技術の  
融合が生み出すオンリーワンのものづくり。



新湊工場



2021年7月12日作成



株式会社 ヤマシタ

# I. 環境経営方針

## <環境経営理念>

全世界では益々深刻化する地球温暖化への対応が求められており、二酸化炭素の排出や資源の有効利用は人類共通の重要課題であると考えています。株式会社ヤマシタは環境経営目標を構築し、社員が一丸となって環境保全に取り組めます。

金属加工品の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、社員が自主的・積極的に、環境経営目標の取り組みを進めてまいります。

## <環境保全への行動方針>

1. 環境経営目標を定め、社員全員が環境負荷の削減に取り組めます。
  - ① 電力及びガソリン・軽油等の消費削減に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
  - ② 紙類、金属端材、廃プラ、木くず等の廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進します。
  - ③ 節水活動により水使用量の削減に努めます。
  - ④ 化学物質(PRTR法対象物質)の使用量の削減に努めます。
  - ⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努めます。
  - ⑥ ステンレスの素材を活かして、環境に配慮した製品開発を行います。
  - ⑦ 工場周辺の清掃活動に努め、地域住民と協調を図ります。  
これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境経営方針を社員全員に徹底し、環境に対する意識を高め、環境改善を継続的に取り組めます。

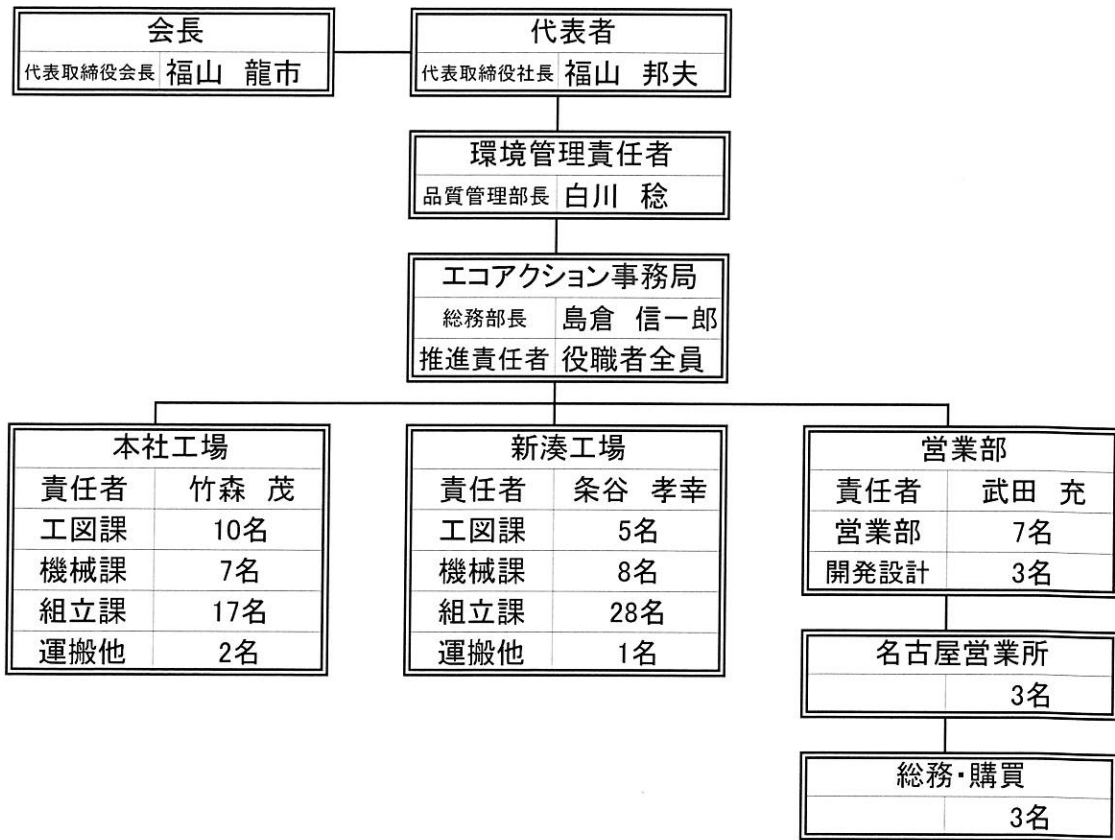
2021年 7月 7日  
株式会社 ヤマシタ  
代表取締役 福山 邦夫

## Ⅱ 事業の概要

1. 事業所名および代表者  
株式会社 ヤマシタ  
代表取締役 福山 邦夫
2. 所在地  
本社・本社工場 富山県富山市上八日町22番地の1  
新湊工場 富山県射水市新堀21番地の3  
新湊北工場 富山県射水市新堀21番地の6  
名古屋営業所 名古屋市西区堀越3丁目19-17(太陽ビル2F)  
寺塚原工場 富山県射水市寺塚原720番地の1
3. 環境保全関係の責任者、連絡先  
環境管理責任者 白川 稔  
推進責任者 島倉 信一郎  
連絡先 TEL 076-429-1433  
FAX 076-429-9219  
URL <http://www.y-ft.co.jp/>  
E-mail sirakaxa@y-ft.co.jp
4. 事業内容の概要  
ステンレスサッシ・ドア等金属建具の製造・販売  
手摺、建築用装飾金物の製造・販売  
各種モニュメントの製作・企画デザイン  
機械装置、部品等の製造
5. 事業の規模

売上高	令和1年度実績	1,411百万円
従業員数	本社・本社工場	43名
	新湊工場、新湊北工場	52名
	名古屋営業所	3名
生産能力	本社・本社工場	月／80t
	新湊工場	月／80t
敷地面積	本社・本社工場	13,285㎡
	新湊工場	12,699㎡
	新湊北工場	15,639㎡
	婦中倉庫	5,049㎡
	寺塚原工場	10,001㎡
床面積	本社・本社工場	4,961㎡
	新湊工場	4,677㎡
	新湊北工場	3,368㎡
	婦中倉庫	860㎡
	寺塚原工場	1,751㎡

### Ⅲ．実施体制（組織図）



役 割 と 責 任	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムに必要な人材、資金、技術、設備等を用意</li> <li>・環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知</li> <li>・環境経営目標、活動計画書及び環境経営活動レポートを承認</li> <li>・経営課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営の総責任者として、全体的な運営を管理</li> <li>・全体計画を立案し、推進責任者、事務局と共に計画を推進</li> <li>・環境経営活動の取組結果及び活動レポートを代表者へ報告</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム運営上のデータ収集及び分析、文書作成、教育の実施等</li> <li>・環境経営活動の実績集計、活動レポートの作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成</li> <li>・環境管理責任者及び推進責任者と協議</li> </ul>
推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標の進捗状況を管理し、取組内容の改善及び指示・指導</li> <li>・環境経営方針、行動指針の周知</li> <li>・各部門の問題点、課題の発見、是正処置の実施</li> <li>・各部門の取組状況の確認等を事務局へ報告</li> </ul>
各工場および営業部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解及び環境への取組みを推進</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## IV. 環境経営目標

目標項目	毎年1%削減	目標基準年	2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
<b>1. 二酸化炭素排出量の削減</b>		2017年				
(1) 消費電力量の削減 (Kg-Co2(電力量)／生産量)	会社全体	1,426	1,384	1,370	1,356	1,342
	消費電力量	946,789	919,213	910,021	900,829	891,637
	生産量	684	664.11	664.11	664.11	664.11
	本社工場	801	778	770	762	755
	新湊工場	1,777	1,725	1,708	1,691	1,673
(2) 消費電力量の削減 (Kg-Co2(売上高)／電力量)	会社全体	1,663	1,615	1,632	1,648	1,665
	売上高	1,529,204	1,484,664	1,484,664	1,484,664	1,484,664
	消費電力量	946,789	919,213	910,021	900,829	891,637
	本社工場	2,960	2,874	2,903	2,931	2,960
	新湊工場	1,335	1,296	1,309	1,322	1,335
(3) 自動車燃料の削減	会社全体	39,030	37,893	37,510	37,128	36,756
① ガソリン消費量(L)	ガソリン(営業部)	22,212	21,565	21,347	21,130	20,918
② 軽油消費量(L)	軽油(製造部)	16,818	16,328	16,163	15,998	15,838
(4) 灯油等使用量の削減	会社全体	14,158	13,746	13,609	13,471	13,334
	本社工場	6,429	6,242	6,180	6,117	6,055
	新湊工場	7,621	7,399	7,325	7,251	7,177
	婦中倉庫	0	0	0	0	0
	名古屋営業所	108	105	104	103	102
<b>2. 廃棄物の削減</b>	廃棄物全体	2019年	224.59	222.34	220.10	217.85
(1) 紙類、段ボール(t)	会社全体	7.97	7.89	7.81	7.73	7.65
	本社工場	1.41	1.40	1.39	1.37	1.36
	新湊工場	6.56	6.49	6.43	6.36	6.30
(2) 金属材料の廃棄量(t)	会社全体	147.15	145.66	144.21	142.74	141.29
	本社工場	74.63	73.88	73.14	72.40	71.66
	新湊工場	72.52	71.78	71.06	70.34	69.63
(3) 廃棄プラスチック(t)	会社全体	37.45	37.08	36.70	36.33	35.97
	本社工場	13.65	13.52	13.38	13.25	13.11
	新湊工場	21.00	20.79	20.58	20.37	20.17
	新湊北工場	2.80	2.77	2.74	2.71	2.69
	婦中倉庫	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(4) 木くず(t)	会社全体	34.30	33.96	33.61	33.27	32.94
	本社工場	10.90	10.79	10.68	10.57	10.47
	新湊工場	23.40	23.17	22.93	22.70	22.47
<b>3. 総排水量(m3)</b>		2017年				
	会社全体	8,469	8,222	8,138	8,057	7,975
	本社工場	2,189	2,125	2,102	2,083	2,061
	新湊工場	5,385	5,228	5,174	5,122	5,071
	新湊北工場	381	370	366	363	359
	ヤマシタ寮	514	499	496	490	484
<b>4. グリーン商品の購入</b>	会社全体	68.81%	70.94%	71.67%	72.33%	73.13%
<b>5. 化学物質 (PRTR法対象物質) の削減</b>	会社全体	4.814	4.674	4.626	4.625	4.534
PRTR法対象物質使用量／鉄の加工重量	本社工場	4.488	4.357	4.313	4.269	4.226
	新湊工場	5.764	5.596	5.540	5.483	5.428
<b>6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組目標</b>						
(1) 金属材料の廃棄率の改善(率)	会社全体	15.39%	14.94%	14.79%	14.64%	14.49%
廃棄金属クズ／主要材料使用量	本社工場	16.36%	15.88%	15.72%	15.56%	15.40%
	新湊工場	14.38%	13.96%	13.82%	13.68%	13.54%
(2) コピー用紙使用量の削減(Kg)	会社全体	3,273	3,178	3,146	3,114	3,083
	本社工場	1,351	1,312	1,299	1,286	1,273
	新湊工場	1,922	1,866	1,847	1,829	1,810

## V. 環境経営活動計画(2021年度の取組)

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

#### (1) 節電活動

- ① 消灯担当者を任命し、休憩時間の照明機器の消灯を徹底する。
- ② 明るい日の照明は、工場中央部以外は消灯する。
- ③ 不稼働機器の電源管理(待機電力量を減らす)
- ④ コピー機等の省エネモードにて使用する。

#### (2) 太陽光発電

- ① 新湊工場の屋根に、208.8kwh、本社工場の屋根に252.53kwhの発電能力のある太陽光パネルを設置し自然エネルギーの活用を推進している。
- ② 2020年度では会社全体で531,309kWhの発電がありました。二酸化炭素排出量に換算すると、年間279,469Kg-CO<sub>2</sub>の削減効果がありました。

#### (3) 冷暖房の室温管理(A/C)

- ① 事務所・工図室の冷房温度は28度に設定する。
- ② 事務所・工図室の暖房温度は20度に設定する。

#### (4) 設備機器の検討

- ① TIG溶接機等新機種への切り替えは、インバータ方式を導入し省エネ化する。
- ② 機械設備および機器の稼働時間を少なくする。
- ③ 省エネ設備の導入を検討する。

#### (5) 工程管理による残業時間の削減

- ① 顧客及び営業部門との打合せを密に行い、効率の良い生産体制を築く(無駄な時間外を無くす)。
- ② 作業停滞が生じないよう、工程時間の打合せを毎日行い、最優先作業を作業員に周知する。
- ③ 生産情報システムを活用し、工程管理による生産性の向上を目指す。

#### (6) 灯油使用量の削減

- ① 消費量を定め計画購入する(暖房用)。
- ② 燃焼調整をこまめに行う。

#### (7) 自動車燃料の削減

- ① 運行予定表の作成による計画走行を実施する(トラック便)。
- ② エコ運転の推進(アイドリング禁止等)。
- ③ 運転日報の制定及び走行距離の記録(営業車)。
- ④ 車の乗換え時には、ハイブリッド等のエコカーとする。

### 2. 廃棄物の削減

#### (1) 紙類、段ボールの有効利用

- ① 出荷梱包に、不要な段ボール及び木枠パレットを再利用する。
- ② 内部資料等の作成は、できる限り使用済みコピー用紙等の裏面使用を推進する。

#### (2) 端材(残材)の有効利用

- ① 端材等のスクラップ材の完全分別化(完全リサイクル)を実施している。
- ② 端材を利用した商品開発を促進する。

(3) 廃棄プラスチックの削減

- ① 梱包材の再利用を推進し、廃プラの削減に努める。
- ② 分別を徹底し、廃プラの削減に努める。

(4) 木くずの削減

- ① パレットの木くずを再利用する人に引き取ってもらう。
- ② 材料業社に引取り交渉をする。

3. 排水量の削減

(1) 節水運動の推進

- ① 節水を周知するためポスターを作成する。(蛇口設置箇所)
- ② 清掃時の節水(作業場モップ清掃時等)に努める。

(2) 融雪放水の管理

- ① 20Cm以上の積雪又は天気予報等で20Cm以上の積雪が予想される場合に放水する。
- ② 積雪状況を見て放水を停止するなど、無駄な放水をしないように努める。

4. 化学物質 (PRTR法対象物質) の削減

- ① 化学物質取扱者に対する教育を行う。
- ② 化学物質の保管・管理を指導する。(安全パトロール)

5. グリーン商品の購入

- ① 事務用品において、グリーン商品の購入に努める。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

(1) 金属材料の廃棄率の改善(材料のムダを無くす)

- ① 集約加工の推進(ネスティング歩留りの向上)。
- ② 在庫管理の確立(適正サイズにて加工)。
- ③ 不良品の削減(再発防止策の構築)。
- ④ 残材使用を含む材料の適正選択を指示する。

(2) 製品の再作成の削減

- ① 図面の確認を徹底し、作図ミスを減らす。
- ② 切断ミス及び曲げ加工の精度を向上し、機械加工ミスを減らす。
- ③ 穴あけ加工ミスや溶接加工ミスを減らす。

(3) コピー用紙の使用量削減

- ① エ図課でのバラ図コピー方式を検討する。(両面コピー化)
- ② バラ図配布部数の見直しする。(ムダ配布の排除)
- ③ サイズを縮小化にて使用する。【例】B4サイズのコピー用紙 ⇒ A4サイズに変更
- ④ 別件での使用済み用紙の裏面使用を推進する。
- ⑤ Ipadの導入により、図面コピーの削減を図る。
- ⑥ ペーパーレス化の促進。

## VI. 環境負荷の実績及び目標と評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

#### (1) 生産量に対する消費電力量の削減

- 当社は生産量が増えれば消費電力量も増加するので、目標は下記のとおり消費電力量を生産量で割った数値を目標としています。

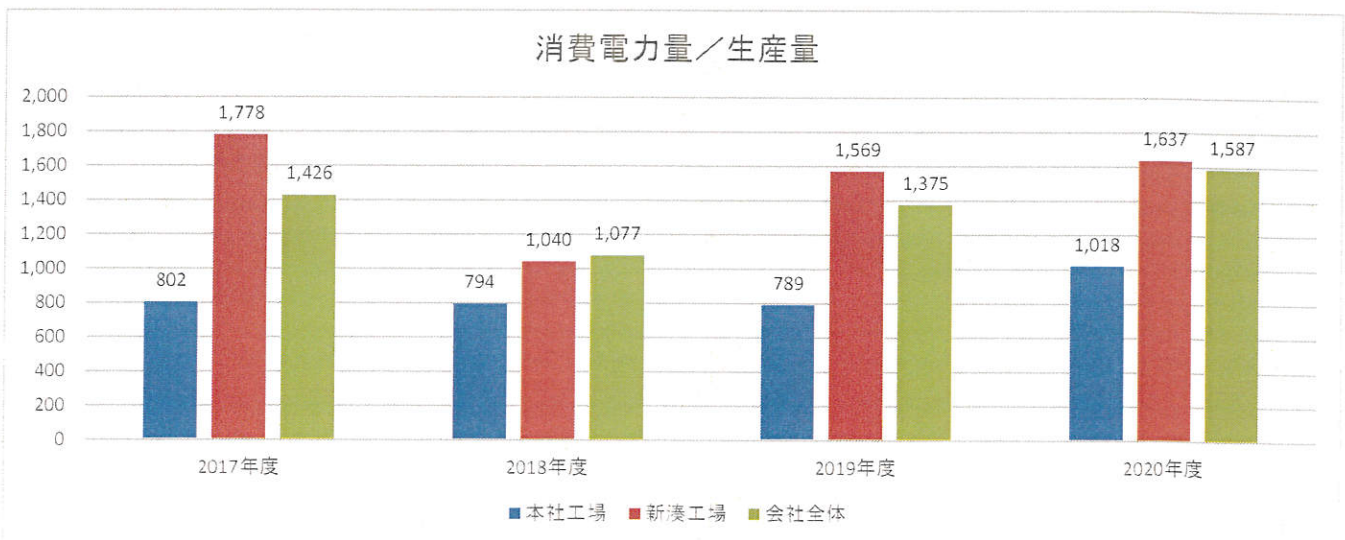
項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
本社工場(電力量/生産量)	802	794	789	1,018	778	△ 240	76.42%
消費電力量(kWh)	275,946	271,272	255,679	255,182	267,640	12,458	104.88%
生産量(t)	344.06	341.81	324.20	250.64	344.01	△ 93.37	72.86%
新湊工場(電力量/生産量)	1,778	1,040	1,569	1,637	1,725	88	105.39%
消費電力量(kWh)	569,046	575,609	531,403	485,188	552,000	66,812	113.77%
生産量(t)	320.05	553.63	338.70	296.43	320.00	△ 23.57	92.63%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	83,760	100,621	105,367	101,119	81,799	△ 19,320	80.89%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	9,410	8,744	11,934	11,152	8,974	△ 2,178	80.47%
寺塚原工場							
消費電力量(kWh)				9,727	0	△ 9,727	0.00%
テプコの排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )				426,635	0	△ 426,635	0.00%
北電の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	538,505	548,885	519,116	10,982	478,877	467,895	4360.56%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	9,189	7,722	6,802	6,036	8,816	2,780	146.06%
中電の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	4,337	3,645	3,211	2,728	4,294	1,566	157.39%
会社全体(電力量/生産量)	1,426	1,077	1,375	1,587	1,384	△ 203	87.21%
消費電力量(kWh)	947,351	963,968	911,185	868,404	919,229	50,825	105.85%
生産量(t)	664.11	895.44	662.90	547.07	664.01	△ 116.94	82.39%
電力全体の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	542,842	552,530	522,326	440,345	483,171	42,826	109.73%

会社全体の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	673,908	674,721	642,745	554,471	611,160	56,689	110.22%
-------------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------

(注) 二酸化炭素の排出係数は、テプコカスタマーサービスの調整後排出係数(令和1年度実績 0.507-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。

北陸電力は調整後排出係数(令和1年度実績 0.526-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。

名古屋営業所は中部電力の排出係数(令和1年度 0.452-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。



#### ・ 2020年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、868,404kWhとなり目標比 50,825kWh減少し、生産量は547.07tで目標比 116.94t減少した結果、目標値(消費電力量÷生産量)では、1,587となり目標達成率は 87.21% となりました。

評価としては、消費電力量、生産量ともに大幅に減少しましたが、目標は達成できませんでした。



(2) 売上高に対する消費電力量の削減

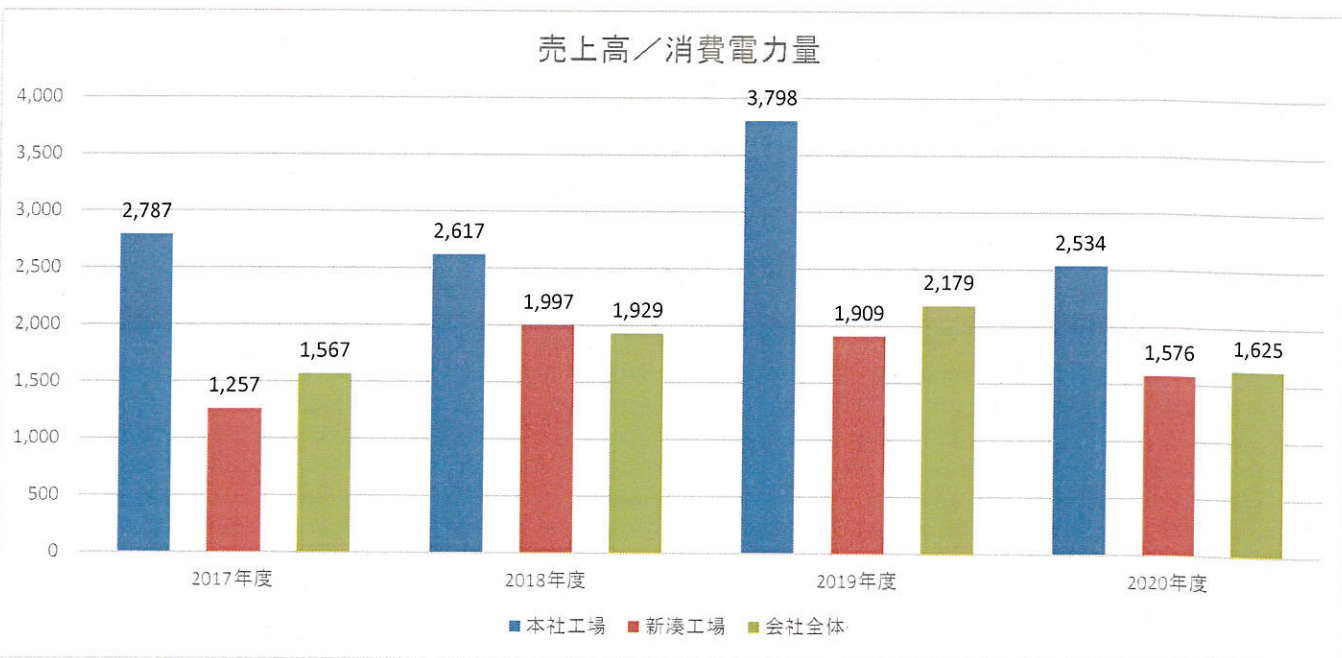
- ・ 当社は売上高の増加が利益の増強につながるが生産量と同様に電力量も増加するので、目標は下記のとおり売上高を消費電力量で割った数値を目標としています。

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
本社工場 (売上高/電力量)	2,787	2,617	3,798	2,534	2,874	△ 340	88.16%
消費電力量(kWh)	275,946	271,272	255,679	255,182	267,640	12,458	104.88%
売上高(千円)	769,170	709,787	970,993	646,526	769,197	△ 122,671	84.05%
新湊工場 (売上高/電力量)	1,257	1,997	1,909	1,576	1,296	280	121.61%
消費電力量(kWh)	569,046	575,609	531,403	485,188	552,000	66,812	113.77%
売上高(千円)	715,494	1,149,643	1,014,422	764,685	715,392	49,293	106.89%
新湊北工場							
消費電力量(kWh)	83,760	100,621	105,367	101,119	81,799	△ 19,320	80.89%
婦中倉庫							
消費電力量(kWh)	9,410	8,744	11,934	11,152	8,974	△ 2,178	80.47%
寺塚原工場							
消費電力量(kWh)				9,727	0	△ 9,727	0.00%
テプコの排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )				426,635	0	△ 426,635	0.00%
北電の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	538,505	548,885	519,116	10,982	478,877	467,895	4360.56%
名古屋営業所							
消費電力量(kWh)	9,189	7,722	6,802	6,036	8,816	2,780	146.06%
中電の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	4,337	3,645	3,211	2,728	4,294	1,566	157.39%
会社全体 (売上高/電力量)	1,567	1,929	2,179	1,625	1,615	10	100.62%
消費電力量(kWh)	947,351	963,968	911,185	868,404	919,229	50,825	105.85%
売上高(千円)	1,484,664	1,859,430	1,985,415	1,411,211	1,484,555	△ 73,344	95.06%
会社全体の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	542,842	552,530	522,326	440,345	483,171	42,826	109.73%

(注) 二酸化炭素の排出係数は、テプコカスタマーサービスの調整後排出係数(令和1年度実績 0.507-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。

北陸電力は調整後排出係数(令和1年度実績 0.526-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。

名古屋営業所は中部電力の排出係数(令和1年度 0.452-CO<sub>2</sub>/kWh) で算出しました。



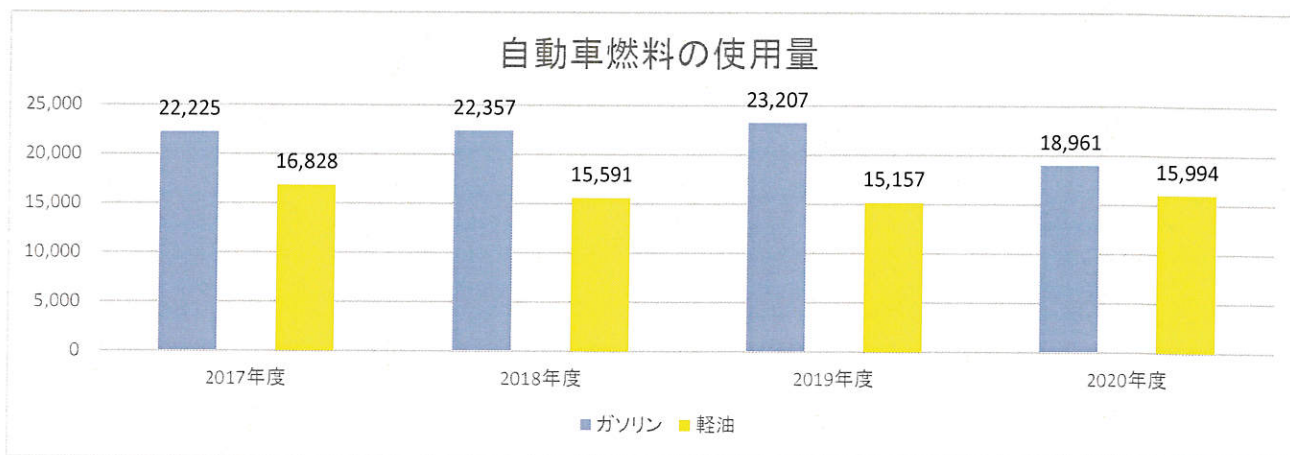
・ 2020年度の結果と評価

会社全体の消費電力量は、868,404kWhとなり目標比 50,825kWh減少し、売上高は 73,344千円減少しましたが目標値(売上高÷消費電力量)では、1,625となり目標達成率は 100.62% となりました。

評価としては、売上高の減少に伴い消費電力量も大幅に減少しましたが目標は達成することができました。

### (3) 自動車燃料の削減

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率	
自動車燃料	ガソリン	22,225	22,357	23,207	18,961	21,565	2,604	113.73%
	排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	51,599	51,868	53,887	44,027	50,580	6,553	114.88%
	軽油	16,828	15,591	15,157	15,994	16,328	334	102.09%
	排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	44,162	40,224	39,696	41,888	43,195	1,307	103.12%
	会社全体	39,053	37,948	38,364	34,955	37,893	2,938	108.41%
	排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	95,761	92,092	93,583	85,916	93,775	7,859	109.15%

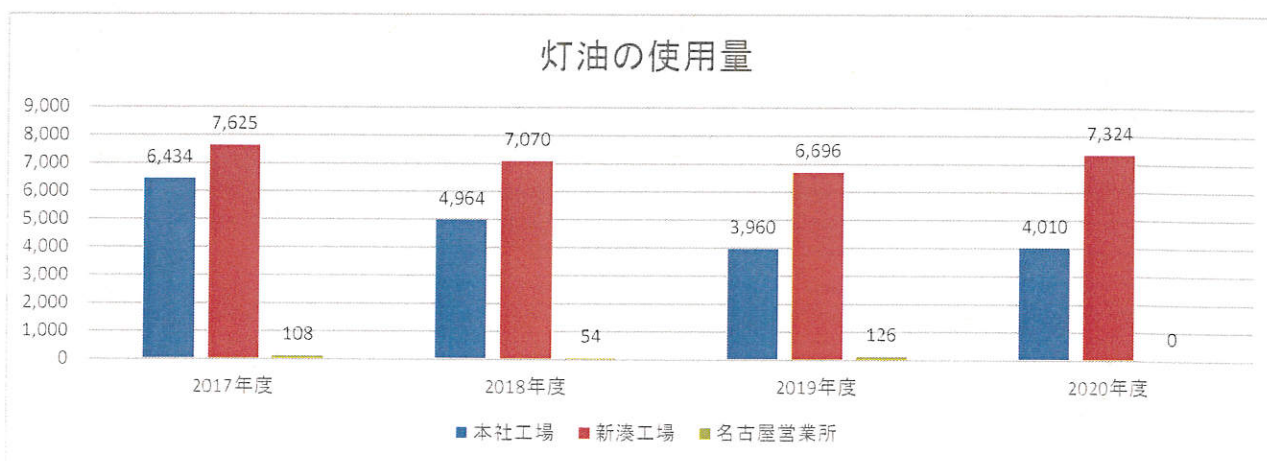


#### ・ 2020年度の結果と評価

ガソリン、軽油とも目標を達成し、合計で目標比 2,938L削減できました。  
結果、自動車燃料の削減目標は、会社全体で 108.41%となり目標達成となりました。

### (4) 灯油使用量の削減

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率	
灯油使用量	本社工場	6,434	4,964	3,960	4,010	6,242	2,232	155.66%
	新湊工場	7,625	7,070	6,696	7,324	7,399	75	101.02%
	名古屋営業所	108	54	126	0	105	105	#DIV/0!
	会社全体	14,167	12,088	10,782	11,334	13,746	2,412	121.28%
	排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	35,305	30,099	26,836	28,210	34,214	6,004	121.28%



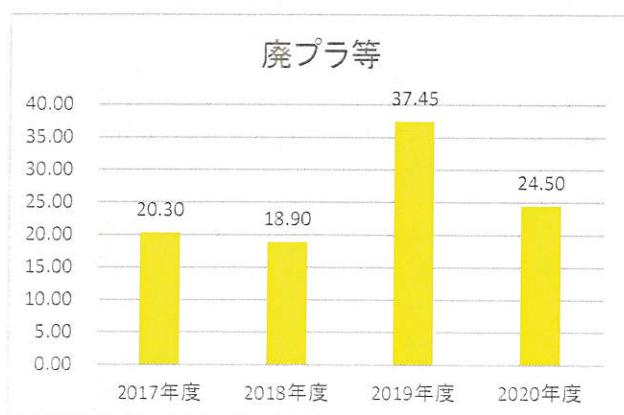
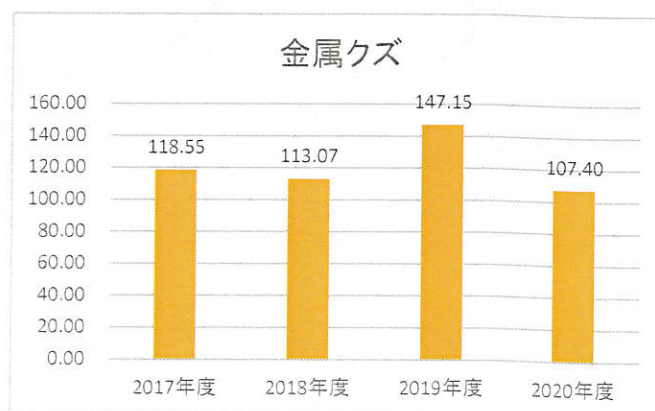
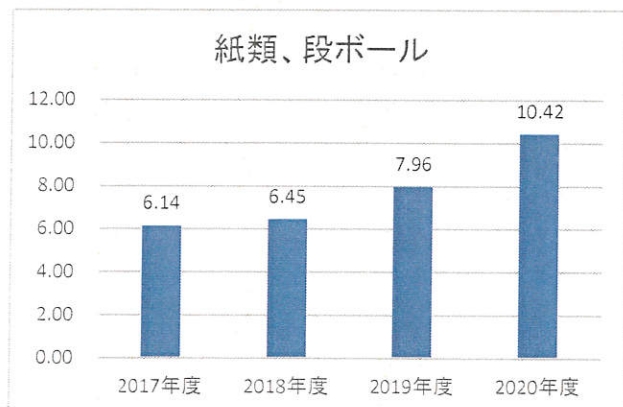
#### ・ 2020年度の結果と評価

灯油の使用量は、本社工場、新湊工場、ともに使用量は減少し、名古屋営業所は使用量ゼロとなりました。  
今年度は稼働時間の減少から、会社全体では 11,334Lの使用量となり2,412L削減できました。  
会社全体で 121.28%となり目標を達成することができました。

※ LPGに関しては、実習生寮の使用分であり生活費の為、除外致します。

## 2. 廃棄物の総量の削減

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
紙類、段ボール (t)	6.14	6.45	7.96	10.42	7.89	△ 2.53	75.72%
本社工場	1.88	1.99	1.40	6.76	1.40	△ 5.36	20.71%
新湊工場	4.26	4.46	6.56	3.66	6.49	2.83	177.32%
金属端材 (t)	118.55	113.07	147.15	107.40	145.66	38.26	135.62%
本社工場	29.95	48.81	74.63	49.93	73.88	23.95	147.97%
新湊工場	88.60	64.26	72.52	57.47	71.78	14.31	124.90%
廃プラ等 (t)	20.30	18.90	37.45	24.50	37.08	12.58	151.35%
本社工場	5.60	5.60	13.65	6.30	13.52	7.22	214.60%
新湊工場	11.90	10.80	21.00	14.20	20.79	6.59	146.41%
新湊北工場	2.80	2.50	2.80	1.90	2.77	0.87	145.79%
婦中倉庫	0.00	0.00	0.00	0.70	0.00	△ 0.70	0.00%
寺塚原工場				1.40	0.00	△ 1.40	0.00%
木くず (t)	11.22	9.98	34.30	16.75	33.96	17.21	202.75%
本社工場	5.76	8.07	10.90	12.35	10.79	△ 1.56	87.37%
新湊工場	5.46	1.91	23.40	4.40	23.17	18.77	526.59%
廃棄物量	156.21	148.40	226.86	159.07	224.59	65.52	141.19%

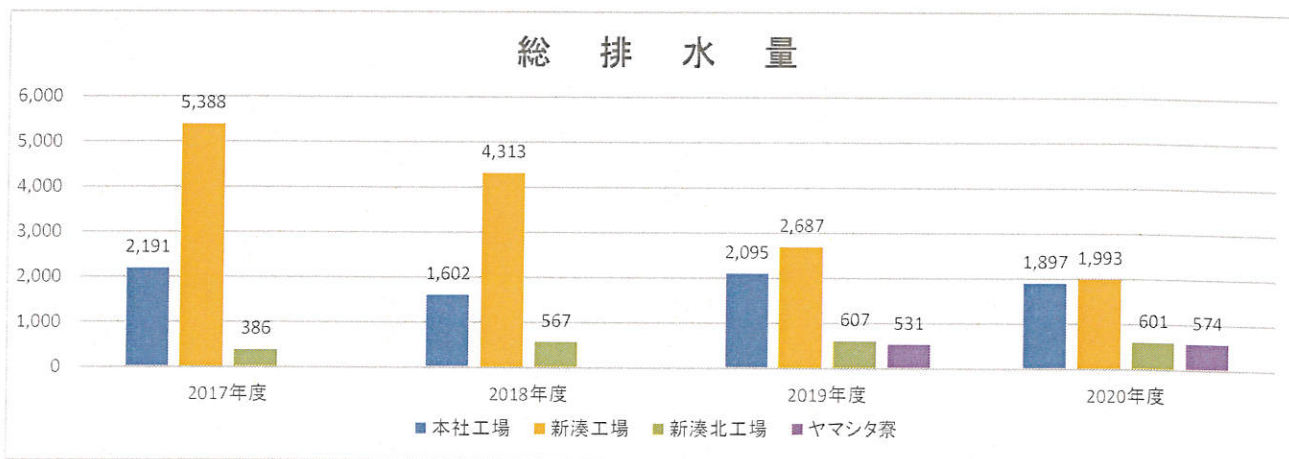


### ・ 2020年度の結果と評価

紙類、段ボールは本社工場で廃棄文書を集中処理した結果、目標差2.53t増加しましたが廃棄物量全体では目標比66.22t 減少し、達成率141.19%となりました。

### 3. 総排水量の削減

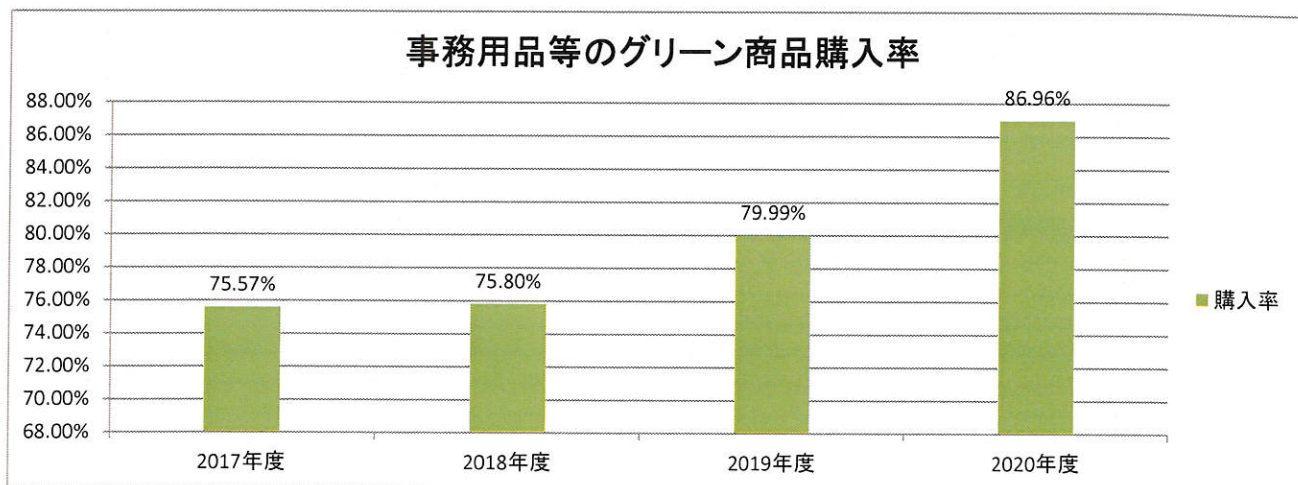
項目	単位	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
本社工場	m <sup>3</sup>	2,191	1,602	2,095	1,897	2,125	△ 228	112.01%
新湊工場	m <sup>3</sup>	5,388	4,313	2,687	1,993	5,228	△ 3,235	262.32%
新湊北工場	m <sup>3</sup>	386	567	607	601	370	231	61.56%
ヤマシタ寮	m <sup>3</sup>		382	531	574	499	75	86.93%
寺塚原工場	m <sup>3</sup>				34	0	34	0.00%
総排水量		7,965	6,482	5,920	5,099	8,222	△ 3,123	161.24%



- ・ 2020年度の結果と評価  
会社全体で目標比3,123m<sup>3</sup>減少し達成することができました。

### 4. グリーン商品の購入率アップ

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
グリーン商品の購入率	75.57%	75.80%	79.99%	86.96%	70.94%	16.02%	122.58%
事務用品等購入額	560,603	780,522	697,291	753,531	697,291	56,240	
内グリーン商品の購入額	423,660	591,630	557,781	655,267	494,658	160,609	



- ・ 2020年度の結果と評価  
グリーン商品を優先して購入しており、目標は達成することができました。

5. 化学物質 (PRTR法対象物質) 使用量の削減

(1) 本社工場

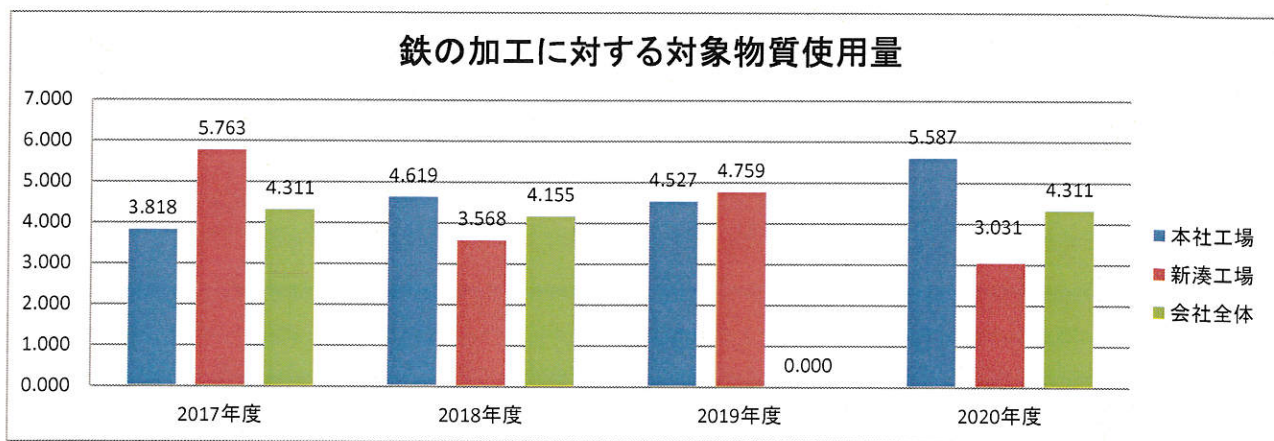
項目	単位	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	3.818	4.619	4.527	5.587	4.357	△ 1.230	77.99%
鉄の加工重量	t	195.28	186.26	168.17	118.05	193.00	△ 74.95	163.49%
PRTR法対象物質	Kg	746	860	761	660	841	181	127.50%
トルエン	Kg	400	657	312	360	385	25	106.98%
キシレン	Kg	204	131	195	130	193	63	148.59%
エチルベンゼン	Kg	142	72	136	91	141	50	154.70%
その他	Kg	0	0	118	79	122	43	155.12%

(2) 新湊工場

項目	単位	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	5.763	3.568	4.759	3.031	5.596	2.565	184.65%
鉄の加工重量	t	66.72	146.88	125.10	117.70	66.07	△ 51.63	56.13%
PRTR法対象物質	Kg	384	524	595	357	370	13	103.65%
トルエン	Kg	222	318	468	300	216	△ 84	71.87%
キシレン	Kg	20	36	63	28	20	△ 8	71.79%
エチルベンゼン	Kg	14	26	47	22	14	△ 8	64.25%
その他	Kg	128	144	18	7	120	113	1669.44%

(4) 会社全体

項目	単位	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
PRTR法対象物質使用量 ／鉄の加工重量	Kg/t	4.311	4.155	4.626	4.311	4.674	0.363	108.41%
鉄の加工重量	t	235.75	333.14	293.27	235.75	259.07	23.32	109.89%
PRTR法対象物質	Kg	1,016	1,384	1,357	1,016	1,211	195	119.14%
トルエン	Kg	660	976	780	660	601	△ 59	91.01%
キシレン	Kg	158	166	257	158	213	55	135.14%
エチルベンゼン	Kg	113	98	183	113	154	42	137.32%
その他	Kg	86	144	136	86	243	157	282.04%



(注) 化学物質使用量の削減目標は、PRTR法の対象物質に対する鉄の加工重量としていますが、単位が小さくて表が見にくいので、鉄の加工を1tするののにトルエン等の化学物質を何Kg使用したかを表示しています。

○ 化学物質の削減目標 =  $\frac{\text{PRTR法対象物質の使用量}}{\text{鉄の加工重量}}$

・ 2020年度の結果と評価

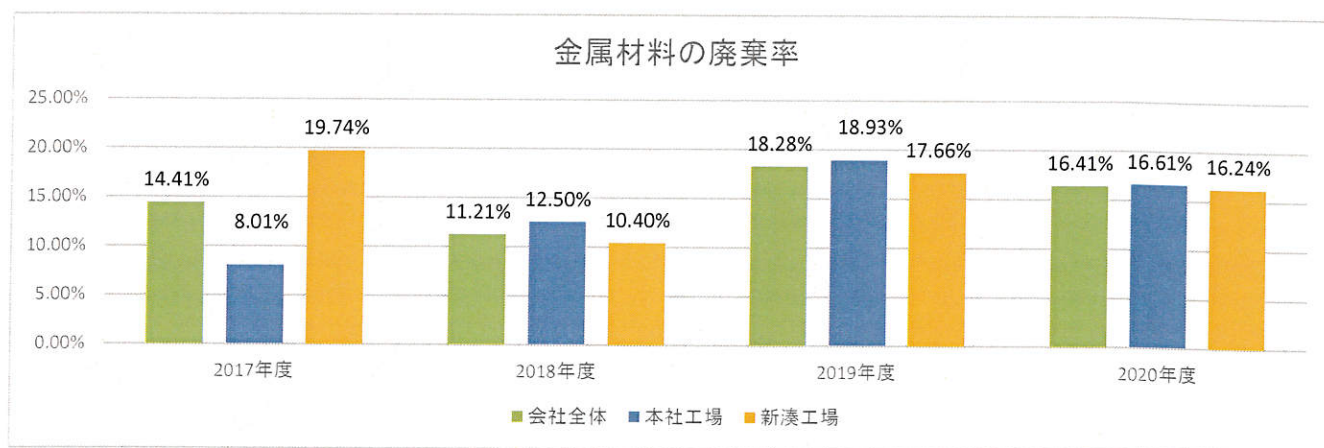
化学物質 (PRTR法対象物質) 使用量は 目標比195Kg減少し、鉄の加工重量も 23.32t減少しました。

化学物質の使用は錆止め塗装に使用しており、目標値は化学物質使用量÷鉄の加工重量としているので、会社全体の目標達成率は 108.41%となりました。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組

(1) 金属材料の廃棄率の改善

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
金属材料の廃棄率	14.41%	11.21%	18.28%	16.41%	14.94%	-1.47%	91.04%
主要材料使用量(t)	822.92	1,008.51	804.83	654.47	815.90	161.43	124.67%
金属クズ(t)	118.55	113.07	147.15	107.40	121.89	14.49	113.49%
本社工場の金属材料廃棄率	8.01%	12.50%	18.93%	16.61%	15.88%	-0.74%	95.56%
主要材料使用量(t)	374.01	390.62	394.22	300.57	412.85	112.28	137.36%
金属クズ(t)	29.95	48.81	74.63	49.93	65.54	15.61	131.26%
新湊工場の金属材料廃棄率	19.74%	10.40%	17.66%	16.24%	13.96%	-2.28%	85.94%
主要材料使用量(t)	448.91	617.89	410.61	353.90	403.05	49.15	113.89%
金属クズ(t)	88.60	64.26	72.52	57.47	56.25	△ 1.22	97.88%

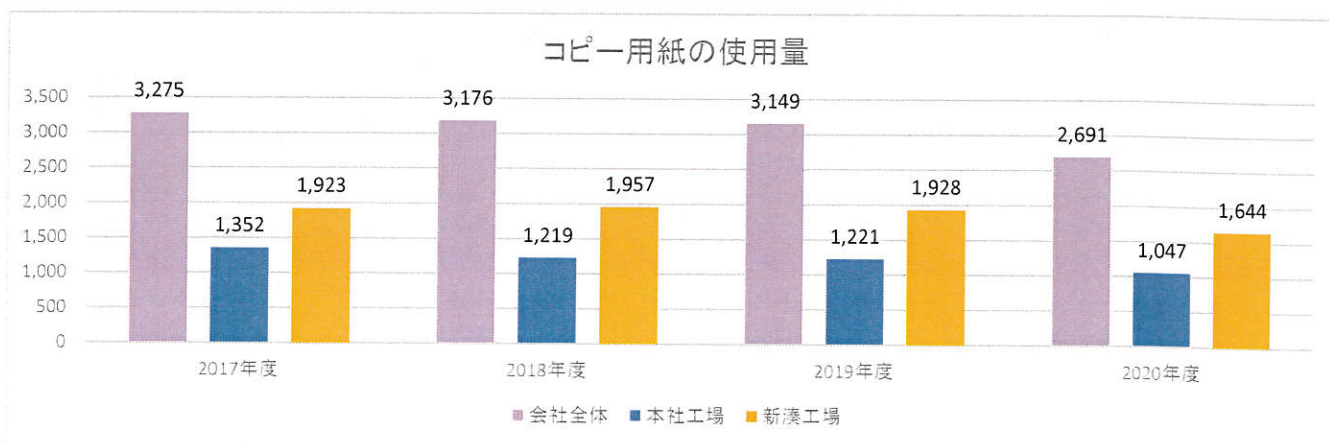


・ 2020年度の結果と評価

会社全体の主要材料の使用量は目標比 161.43t減少し、金属クズも 14.49t減少しましたが、目標達成率は 91.04%で未となりました。

(2) コピー用紙の使用量の削減

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年度目標	目標差	達成率
コピー用紙の使用量(Kg)	3,275	3,176	3,149	2,691	3,178	487	118.09%
本社工場	1,352	1,219	1,221	1,047	1,312	265	125.27%
新湊工場	1,923	1,957	1,928	1,644	1,866	222	113.51%

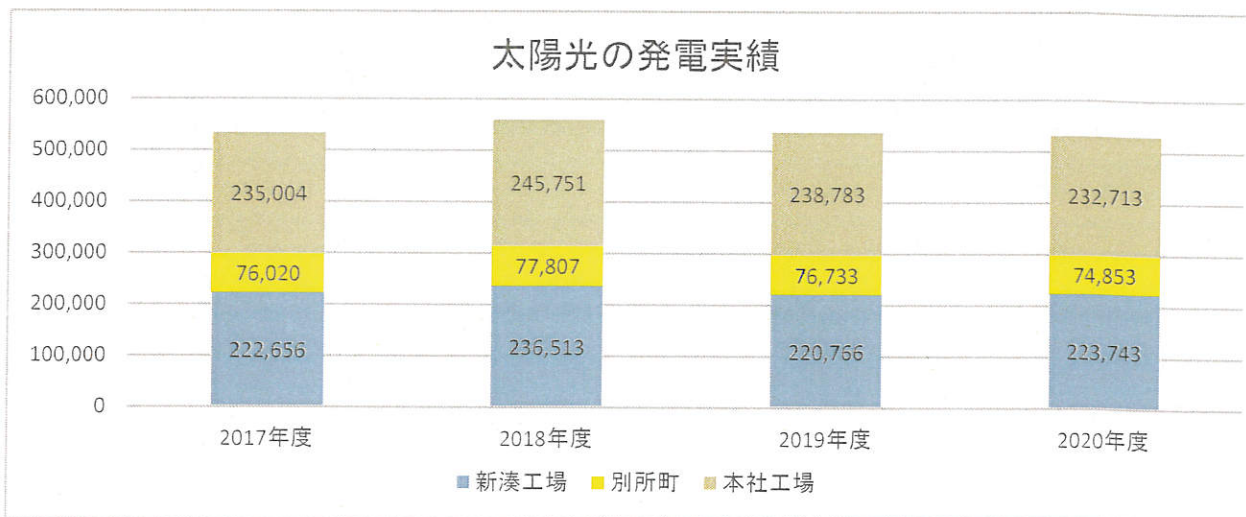


・ 2020年度の結果と評価

コピー用紙の使用量は、会社全体で 2,691Kgとなり、目標値の 3,178Kgより 487Kg少なくすることができました。

(3) 太陽光発電への取組み

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
太陽光発電 (kWh)	533,680	560,071	536,282	531,309
新湊工場発電 (kWh)	222,656	236,513	220,766	223,743
別所町発電 (kWh)	76,020	77,807	76,733	74,853
本社工場発電 (kWh)	235,004	245,751	238,783	232,713
会社全体の排出量(Kg-CO <sup>2</sup> )	306,332	321,480	307,825	279,469



- 太陽光発電の取組みは、クリーンなエネルギーであり地球温暖化への貢献ができると考えています。しかし、太陽光発電は天候に左右されるので目標値は設定していません202019年度では 531,309 kWhの発電をすることができました。

## Ⅶ. 環境経営目標の実績と評価

### 1. 取組状況

全体取組項目	取組内容	実績と評価				
		本社工場	新湊工場	名古屋他	会社全体	
(1) 環境方針	当社の方針に沿って策定					
(2) 環境目標とその実績	1. 二酸化炭素排出量の削減	目標達成率				
	1t当りの消費電力量(電力量/生産量)	76.42%	105.39%		87.21%	
	1t当りの消費電力量(売上高/電力量)	88.16%	121.61%		100.62%	
	自動車燃料	ガソリン消費量の削減			113.73%	108.41%
		軽油消費量の削減			102.09%	
	灯油	灯油使用量の削減	155.66%	101.02%	0.00%	121.28%
	2. 廃棄物量の削減	目標達成率				
	紙類、段ボールの廃棄量の削減	20.71%	177.32%		75.72%	
	金属材料の廃棄物の削減	147.97%	124.90%		135.62%	
	廃棄プラスチック廃棄量の削減	214.60%	146.41%	145.79%	151.35%	
	木くず廃棄量の削減	87.37%	526.59%		202.75%	
	3. 総排水量の削減	112.01%	262.32%	61.56%	161.24%	
	4. グリーン商品の購入			122.58%	122.58%	
	5. 化学物質排出率の削減	77.99%	184.65%		108.41%	
	6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組					
		金属材料の廃棄率の改善	95.56%	85.94%		91.04%
		コピー用紙の使用量の削減	125.27%	113.51%		118.09%
(3) 環境活動計画の内容	節電活動(休憩時の消灯等)	△	○	△	△	
	冷暖房の室温管理(温度設定)	○	○	○	○	
	設備機器の検討(省エネ設備機器等)	—	○	—	○	
	工程管理による残業時間の削減	○	○	○	○	
	自動車燃料の削減(エコドライブの推進)	○	○	○	○	
	灯油使用量の削減(灯油ストーブの管理)	○	○	○	○	
	紙類、段ボールの有効利用	×	○	—	△	
	端材(残材)の有効利用	○	○	—	○	
	廃棄プラスチックの削減	○	○	○	○	
	木くず廃棄量の削減	△	○	—	○	
	節水活動の推進	○	○	△	○	
	融雪放水の管理	○	—	—	○	
	化学物質の保管・管理を指導	○	○	—	○	
	グリーン商品の購入	○	○	○	○	
	金属材料の廃棄率の改善	△	△	—	△	
	コピー用紙の使用量削減	○	○	○	○	



2020年度

環境目標及び活動計画書

方針	項目	環境活動等	2020年度 スケジュールと結果												達成状況/問題点/是正 (実施責任者)	定期的な確認・評価・是正 (管理責任者/代表者)	承認	確認			
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
電力の削減 【基準】2017年度 2017年度消費電力 947.35kWh 2017年度生産重量 664.11t 【目標】生産量に対する消費電力 【中期目標】消費電力/生産重量 1.384kWh 2020年度目標 1.384 2021年度目標 1.370 2022年度目標 1.356	電力削減対策説明	責任部門	2017年度消費電力 kWh	2018年度消費電力 kWh	2019年度消費電力 kWh	2020年度消費電力 kWh	2021年度消費電力 kWh	2022年度消費電力 kWh	2017年度生産重量 t	2018年度生産重量 t	2019年度生産重量 t	2020年度生産重量 t	2021年度生産重量 t	2022年度生産重量 t	上半期	下半期	計	各機種の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。	消費電力量は 868,404kWhとなり、目標比 50.809kWh/トナリ、削減率 1.1%向上高は前期比574.90%と大幅に向上した結果、生産ベースでは未達成、売上高ベースでは達成した。		
	【目標】売上高に対する消費電力	責任部門	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	上半期	下半期	計	売上高の減少から消費電力も節約でき目標は達成できた。			
	【目標】生産量に対する消費電力	責任部門	2017年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2018年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2019年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2020年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2021年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2022年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2017年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2018年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2019年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2020年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2021年度生産量に対する消費電力 kWh/t	2022年度生産量に対する消費電力 kWh/t	上半期	下半期	計	上半期の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。			
	【中期目標】消費電力/生産重量	責任部門	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	上半期	下半期	計	上半期の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。			
	【目標】売上高に対する消費電力	責任部門	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	上半期	下半期	計	売上高の減少から消費電力も節約でき目標は達成できた。			
	【中期目標】消費電力/生産重量	責任部門	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	上半期	下半期	計	上半期の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。			
	【目標】売上高に対する消費電力	責任部門	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	上半期	下半期	計	売上高の減少から消費電力も節約でき目標は達成できた。			
	【中期目標】消費電力/生産重量	責任部門	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	上半期	下半期	計	上半期の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。			
	【目標】売上高に対する消費電力	責任部門	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2017年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2018年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2019年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2020年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2021年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	2022年度売上高に対する消費電力 kWh/100万円	上半期	下半期	計	売上高の減少から消費電力も節約でき目標は達成できた。			
	【中期目標】消費電力/生産重量	責任部門	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	2017年度消費電力/生産重量 kWh/t	2018年度消費電力/生産重量 kWh/t	2019年度消費電力/生産重量 kWh/t	2020年度消費電力/生産重量 kWh/t	2021年度消費電力/生産重量 kWh/t	2022年度消費電力/生産重量 kWh/t	上半期	下半期	計	上半期の低燃費の影射からエネルギー使用が削減されており未達成となった。			
自動車燃料の削減 【基準】2017年度(ガソリン+軽油) 2017年度使用量 39,053L 2020年度目標 37,893L 【中期目標】ガソリン+軽油 2020年度目標 37,893L 2021年度目標 37,510L 2022年度目標 37,128L	自動車燃料削減対策説明	責任部門	2017年度ガソリン+軽油 L	2018年度ガソリン+軽油 L	2019年度ガソリン+軽油 L	2020年度ガソリン+軽油 L	2021年度ガソリン+軽油 L	2022年度ガソリン+軽油 L	2017年度ガソリン+軽油 L	2018年度ガソリン+軽油 L	2019年度ガソリン+軽油 L	2020年度ガソリン+軽油 L	2021年度ガソリン+軽油 L	2022年度ガソリン+軽油 L	上半期	下半期	計	移動自販等の取組下でもあったことから、概ね順調にきている。	後半は要注確保にむけた営業車のガソリン使用量が増加しましたが、年間では2,804L削減となり目標を達成することができました。		
【基準】2017年度 2017年度使用量 14,167L 2020年度目標 13,746L 【中期目標】(灯油) 2020年度目標 13,746L 2021年度目標 13,699L 2022年度目標 13,471L	灯油の使用量削減	責任部門	2017年度灯油 L	2018年度灯油 L	2019年度灯油 L	2020年度灯油 L	2021年度灯油 L	2022年度灯油 L	2017年度灯油 L	2018年度灯油 L	2019年度灯油 L	2020年度灯油 L	2021年度灯油 L	2022年度灯油 L	上半期	下半期	計	今年の冬は低温時使用量は増加したが目標を達成することができました。	名古屋営業所は灯油使用量を削減し、目標を達成することができました。		
紙類、ポスター等の廃棄量削減 【基準】2019年度 2019年度使用量 7,966kg 2020年度目標 7,886kg 【中期目標】 2020年度目標 7,886kg 2021年度目標 7,811kg 2022年度目標 7,731kg	紙類、ポスター等の廃棄量削減	製造部門	2019年度紙類等 t	2020年度紙類等 t	2021年度紙類等 t	2022年度紙類等 t	2019年度紙類等 t	2020年度紙類等 t	2021年度紙類等 t	2022年度紙類等 t	2019年度紙類等 t	2020年度紙類等 t	2021年度紙類等 t	2022年度紙類等 t	上半期	下半期	計	期末に廃棄文書の一括処分を実施したため、目標を達成することができました。	ペーパーレスを推進しコピー用紙の使用量削減を継続したい。		
金属材料の廃棄量削減 【基準】2019年度 2019年度使用量 147,151kg 2020年度目標 145,661kg 【中期目標】 2020年度目標 145,661kg 2021年度目標 144,211kg 2022年度目標 142,741kg	金属材料の廃棄量削減	製造部門	2019年度金属材料 t	2020年度金属材料 t	2021年度金属材料 t	2022年度金属材料 t	2019年度金属材料 t	2020年度金属材料 t	2021年度金属材料 t	2022年度金属材料 t	2019年度金属材料 t	2020年度金属材料 t	2021年度金属材料 t	2022年度金属材料 t	上半期	下半期	計	切断時の燃材利用や不良品の削減に取組んだ。	材料が高騰しており、引き続き歩留まり率を上げて下さい。		
排水水の削減 【基準】2017年度 2017年度使用量 8,306m <sup>3</sup> 2020年度目標 8,222m <sup>3</sup> 【中期目標】 2020年度目標 8,222m <sup>3</sup> 2021年度目標 8,136m <sup>3</sup> 2022年度目標 8,057m <sup>3</sup>	排水水の削減	責任部門	2017年度排水水 m <sup>3</sup>	2018年度排水水 m <sup>3</sup>	2019年度排水水 m <sup>3</sup>	2020年度排水水 m <sup>3</sup>	2021年度排水水 m <sup>3</sup>	2022年度排水水 m <sup>3</sup>	2017年度排水水 m <sup>3</sup>	2018年度排水水 m <sup>3</sup>	2019年度排水水 m <sup>3</sup>	2020年度排水水 m <sup>3</sup>	2021年度排水水 m <sup>3</sup>	2022年度排水水 m <sup>3</sup>	上半期	下半期	計	新築工場の削減が大きい。向く、本社工場も達成できており、毎月目標を達成できています。	引き続き排水水の削減に努力をお願いいたします。		
事務用品の購入 【基準】2017年度 2017年度購入量 68.16t 2020年度目標 70.94t 【中期目標】 2020年度目標 70.94t 2021年度目標 70.94t 2022年度目標 72.33t	事務用品の購入	責任部門	2017年度事務用品購入量 t	2018年度事務用品購入量 t	2019年度事務用品購入量 t	2020年度事務用品購入量 t	2021年度事務用品購入量 t	2022年度事務用品購入量 t	2017年度事務用品購入量 t	2018年度事務用品購入量 t	2019年度事務用品購入量 t	2020年度事務用品購入量 t	2021年度事務用品購入量 t	2022年度事務用品購入量 t	上半期	下半期	計	グリーン商品を優先して購入した結果、毎月目標を達成できた。	引き続き努力願います。		

※ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組は、金属材料の廃棄率の改善及びコピー用紙の使用量の削減を行っています。

## Ⅷ. 代表者による全体評価

	報 告	コメント・提案 (環境管理責任者)	評価・指示事項 (代 表 者)
二酸化炭素排出量の削減	売上減少に伴い、消費 ① 電力量も減少した結果、 二酸化炭素の排出量目標 が達成できた。	二酸化炭素の排出量は、42,826 ① Kg-CO <sup>2</sup> 減少したが、生産量、 売上高共に減少したが、目標値は 未達となった。	二酸化炭素の排出量は目標達成。 ① 当社は5年前から太光発電発電を 行い、今期279,469Kg-CO <sub>2</sub> 削減して いる。
廃棄物の削減	廃棄量は廃棄文書の集中 ② 処理により紙類・段ボール が増加したものの、全体 では目標達成できた。	ホームドア・産業機械関連の受注減に ② 伴い、部品の梱包材が減少し全体で 65.52tの削減となった。	廃棄量の削減を目指し、ペーパーレス ② 化の促進、端材等の再利用を促進 のこと。

## Ⅸ. 環境関連法規等の取組み

1. 当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境法規は次の通りです。

適用される法規制等	適用される事項	評価
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック類、木くず)	適合
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	適合
小型家電リサイクル	パソコン、携帯電話、デジカメ	適合
水銀廃棄物ガイドライン	廃蛍光灯、HIDランプ	適合
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、3か月に1回以上簡易点検	適合
騒音規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
振動規制法	油圧プレス機、コンプレッサー	適合
浄化槽法	浄化槽の管理	適合
消防法	定期点検の実施、少量危険物保管の管理	適合
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベ使用	適合
労働安全衛生法	作業環境の整備、一般健康診断、特殊健康診断	適合
自動車リサイクル法	自動車の管理、リサイクル料の納付	適合
PRTR法	化学物質の管理	適合

2. 環境関連法規への違反、訴訟等はありません。

また、関係機関や地域住民から苦情や指摘事項はありません。

3. 工場周辺の清掃活動



次回の「環境活動レポート」は、2022年7月に発行を予定しています。